

熊野森 トラスト通信



高津の里山写真展

失われていく緑地を写真にして、保全に力を！！

高津区内の失われていく斜面緑地を写真に撮り、高津市民館ギャラリーで、「高津の里山写真展」を開催する企画事業を2007年度から2008年度、2年間続けて行っています。

これは、高津市民館自主企画事業として、川崎・多摩丘陵の里山を守る会が予算を受けて行っているものです。今年3月7日から1週間、第1回「高津の里山し写真展」を開催し、40名近くの写真応募者による108点の作品展示をし、1週間で延べ800人以上の来場者があり、大変盛況なギャラリー展示となりました。2008年度の写真展にもぜひご応募を。



水と緑のまち・高津の里山ふしぎ発見



写真展のための撮影会を8月2日に開催、円筒分水から久地不動尊に歩いて行ったところ、奥まった湧水のあるところにひっそりとこんな石像がありました。

カメラを持って歩くと、思いがけない風景に出会うことがあります。緑地歩きは、ふしぎ発見の小さな旅です。

目次

特集記事

高津の里山写真展 1

里山活動だより 2

高津の里山写真展 ご案内 2

第9回総会報告 3

久保台公園フリーマーケット 4

告知板

編集後記

里山活動だより



久保台公園にて剪定作業

樹木の剪定は、季節ごとの作業ですが、大きな枝を伐るときには心がちょっとざわつきます。思い切って枝を落とすと、快感があります。その感じの一番強烈なのは、香りです。木を切る時のあの香り。それは生木だからいっそう馨しく、頭から降り注いでくるようです。楠はもちろん、月桂樹などはこの他、樹木の精に包まれる感じが

します。

久保台公園の木陰は、子供や大人たちの夏の憩いの場でした。移ろう季節の中で木々の肌を手を当て、耳を寄せてみてはいかがでしょう。

熊野森緑地も雑木林の再生が進んでいます。8年前にすっかり伐採された斜面も、里山活動で樹木の囁きが聞こえます。

企画

「高津の里山写真展」

応募日程

平成20年11月1日(土)から
12月10日(水)まで

写真応募方法

カラー4つ切り、またはA4サイズ。

過去3年以内に撮影したもの
ひとり3点まで。

写真展には応募作品の中から主催者が選択して展示し、作品賞、里山賞など授与。

応募先

高津市民館「高津の里山写真展」受付係まで、期日内に持参または郵送

写真展日程

平成21年3月6日(金)から
3月11日(水)まで
高津市民館12階ギャラリー

「高津の里山写真展」にむけてのご案内

水と緑のまち高津の里山風景を写真に残し
あなたも私も、高津の緑を残す名カメラマン

高津区役所ちかくで写真店「写真小屋やまちゃん」を運営する山本秀男さんが講師、専門家の観点からのアドバイスは樹木や水の流れの撮影にとっても重要。



高津の里山風景は、水と緑、農のある風景であれば、高津区内に限り応募していただきたいもの。里山は身近な斜面緑地、生産緑地、水辺、用水、湧水、大きな樹、屋敷林などに見られるはず。かけがえのない自然を探してみましょう。



円筒分水は川崎市の中でも重要な歴史遺産、いつも水の絶えない絶好の写真ポイント。写りこみを効果的に取り込むには、シャッターポイントはどこでしょう。



撮影会は夏の暑い盛りでしたが、木陰、水辺は風が渡り涼やかで気持ちの良い時が刻まれていました。地球温暖化ストップにはこうした緑地、水辺を残すことが一番と思います。

(上の3枚は8/2撮影会にて)

川崎・多摩丘陵の里山を守る会 第9回総会報告

5月27日開催

3

2007年度活動報告

「川崎・多摩丘陵の里山を守る会」は2000年8月に結成され、今回の総会で9年目の活動に入ります。昨年の活動をご報告し、残された貴重な緑を大切に、充実した里山ボランティアの活動を継続していきたいと思いません。

「ターザンの木」の保全請願は、04年の川崎市議会環境委員会で趣旨採択され、建設予定マンションの提供公園の中に残ることになったものの3年間、宅地造成工事が中断し、07年末長組による新たな建設計画が出て、再び署名運動、そしてやはり川崎市議会環境委員会08年2月9日に趣旨採択、結論として「ターザンの木」は提供公園の中に残ることになりました。ただしこの提供公園は2か所に分かれ、ターザンの木の周辺は約150㎡の狭さです。斜面緑地と一体で保全されるという当初の計画はなくなってしまいました。

「久本薬医門公園」は2007年3月17日公園整備が完了しオープンし、毎月いろいろな地域イベントが開催されています。この公園管理運営協議会にも川崎・多摩丘陵の里山を守る会は参加しています。

末長久保台公園にて2007年6月30日に開催した「フリーマーケット&流しそうめん」は近隣の方々に多数ご参加いただき、地域活動としての成果を上げました。また、公園内砂場の日除けに植えた「ムベ」は誰かに引きちぎられてしまったので、もう一度植えなおしました。久保台公園の昨年の変化が一つあります。ゴミ箱の問題です。公園事務所から言われて、ゴミはポリ袋に入れて公園前にだしておくと収集車もっていくことになりました。ゴミかごがいっぱいになるとポリ袋にいれてだしています。夏はゴミがたまりやすく一苦労です。従来は収集日に公園前道路にかごを出すと収集していました。しかし、分別がなされていなく苦労していたようです。その苦労が協議会にまわってきました。

毎月第3日曜日に末長久保台公園、ターザンの木周辺、末長熊野森緑地の定期的な草刈と、清掃作業などを続けました。落ち葉や剪定した枝を整理し、雑木林の再生、堆肥づくりに取り組み、また畑作りに励みました。末長久保台公園、末長熊野森緑地ともに、公園管理運営協議会がいっそう緑のボランティア活動を推進し、セブンフォレストヒルズからも末長町会からも参加者が来るようになりました。

緑の活動団体助成事業として、「川崎市公園緑地協会」から2007年度は30000円の緑化助成金を受け、剪定ばさみ、カマ、鋸などの道具類を購入しました。

- ・「川崎・多摩丘陵の里山を守る会」年会費1000円です。会員加入を勧めます。

郵便振替番号 00270-1-53171 多摩丘陵の里山を守る会

- ・熊野森トラスト基金一口3000円の募集を継続。

郵便振替番号 00280-2-53172 久本山熊野森ナショナルトラスト

川崎・多摩丘陵の里山を守る会は、トラスト運動を持続することで、都市化する川崎市内の緑地を保全する活動を続けることを第9回総会にて、確認しました。

夏の盛りのタチアオイ
暑さに競う



2008年度活動方針

- ・多摩丘陵の緑地保全のための活動をします。
- ・緑を育て木や花を植えます。
- ・「野鳥、草花観察会」などを企画します。
- ・毎月第3日曜日の定例と月1回程度草刈と定植、清掃作業などの活動を続けます。
- ・末長熊野森緑地、末長久保台公園とも公園管理運営協議会の活動を支えます。
- ・ターザンの木、久本薬医門公園など、地域の文化遺産を守る活動を続けます。
- ・落ち葉の堆肥マスの活用をすすめて、出来上がった堆肥を他の緑の活動団体や高津花街道の花壇などでの利用を考えます。
- ・行政と協働し他の緑の活動団体、地域と交流します。
- ・ターザンの木などへの散策路案内掲示看板を設置します。
- ・末長久保台公園で秋にフリーマーケットを開催し、近隣との交流を図ります。
- ・高津市民館自主企画事業「高津の里山写真展」を開催します。
- ・高津区内の「水と緑の保全団体のネットワーク化」に参加し活動を推進します。

川崎・多摩丘陵の里山を守る会

事務局

044-866-7005
高津区下作延 2 - 22 - 15
Web サイトのアドレス:
Wwwsnake.ne.jp/^satoyama/

昨年の流しそうめんの写真



末長久保台公園

フリーマーケット

11月8日(土) 雨天の場合は翌9日(日)
午前10時から午後2時まで

リサイクル品; 手作り品; 新鮮地場野菜; などなど

フリーマーケット出店 10 店募集

連絡先 044 - 877-4480 (久保田)

044 - 861-8450 (田中)

熊野森緑地のドングリの苗など、緑地を知ろう！！

お楽しみ里山企画

随時開催

主催; 末長久保台公園管理運営協議会
末長熊野森緑地管理運営協議会

告知板

高津区まちづくり協議会「歩こう、知ろう、高津の水と緑」

プロジェクト・スタート集会 9月12日(金)午後6時30分

場所; 高津区役所 5 階会議室

講師; 岸 由二先生(慶大教授)日本トラスト協会理事

高津のまちの魅力は何か、歩きたくなる高津を再発見するイベント。このあと2年がかりで区内の緑地を探検調査します。ぜひ、探検調査隊ご参加を。申込は区役所地域振興課、高津区協働事業かわさきかえるプロジェクト

「使用済みてんぷら油の回収」が9月から始まります。

毎月第4水曜日 場所; 区役所など(久本薬医門公園、末長335番地 久保田宅前など区内25か所にて)

問合せ; 区役所地域振興課 861-3133 生活クラブ 854-3711

詳細; <http://kaeru.kazekusa.jp>

市民活動見本市2008(多文化フェスタと同日開催)

日時; 10月18日(土) 11:00 ~ 16:00

場所; 高津市民館12階大ホール ぜひご参加を！！

編集後記

今年の夏も暑かったですね。「緑のゴーヤのカーテン」を作るイベントに参加された方も多かったと思います。高津区役所のゴーヤのカーテンは見事です。8月中は毎水曜日に、区役所5階の食堂で「ゴーヤ料理」がメニューになりました。もちろん区役所の壁面で収穫したモノが材料です。

川崎市環境局もゴーヤに取り組み、9月には料理教室も開催されます。どこもかしこもゴーヤでした。ところが我が家のゴーヤは少しも育たず秋を迎えます。

だからと言って、負け惜しみをいうのではありませんが、ゴーヤもいいけど、地球温暖化ストップはそれではねえ。

すみません、根本的な方策などない、と、学者が言っています。このままだと温度上昇は防げない、絶望に向かっていきますね。

ゴーヤの次には、菜の花を植えようということで、かえるプロジェクトは「菜の花の里親」プロジェクトも始めました。菜種から油をとって、天ぷらでもしましょう。そしてその廃油で車を走らせましょう。遠大な目標に向かっていきます。

地球温暖化ストップに向けて、地域の資源を循環させて使う方策を考えようと思います。里山の思想はそれですから。(ケヤキ)

